

美瑛森林事務所 は、

美瑛担当区13,554.76 ha、朗根内担当区7,047.53haを管轄しております。
それぞれの担当区の概要は、下記のとおりになっています。

美瑛担当区 管内概要

I. 森林の位置および概要

当該担当区の管轄エリアは、美しい丘の町美瑛町にあり、美瑛川の上流に当たる位置で、東側と西側の2箇所に分かれて存在しています。

東側の国有林は、白金温泉や十勝岳、扇沼があり観光地となっており、その一部は白金ダム上流に位置しています。

白金地区には、国立大雪青少年交流の家があり、国有林内の遊歩道を活用しています。また、国有林内にあるキャンプ場は、道内外よりアウトドアを楽しむ利用客が多くいます。

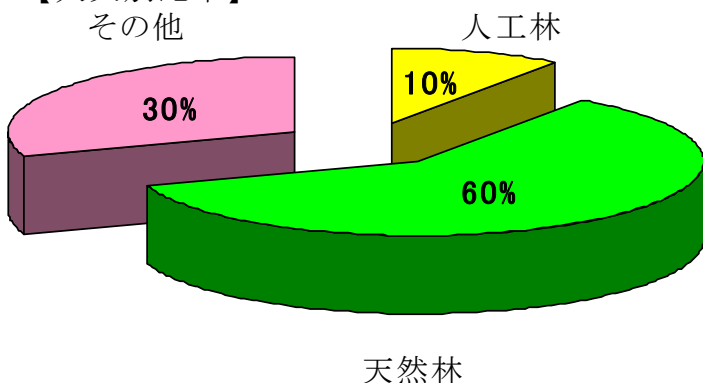
十勝岳は、過去おおむね30年周期で噴火を繰り返しており、大正時代には死者・行方不明者144名を出す泥流が発生しています。このため、白金地区の涸沢・暴れ沢・硫黄沢・尻無沢望岳台沢で治山工事を行っています。

II. 森林の状況等

機能別面積

山地災害防止タイプ	2,453.33 ha
水源涵養タイプ	2,019.37 ha
自然維持タイプ	7,194.71 ha
森林空間利用タイプ	1,887.35 ha

【人天別比率】



※その他には高山帯等を含む

Ⅲ. 管内の特徴

【十勝岳】 この150年で5回の噴火！



1857年(安政4年).....4月27日噴火活動が始まる。5月23日火柱が上がるのを確認

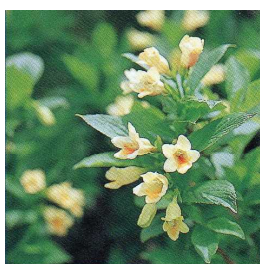
1888年(明治21年).....前年から活動始まる。常に黒煙を噴出

1926年(大正15年).....5月24日午後4時過ぎ大噴火。発生した泥流により死者行方不明者144名。
9月8日爆発。行方不明2名

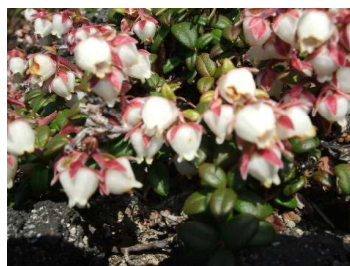
1962年(昭和37年).....6月29日大噴火。死者行方不明者5名

1988年(昭和63年).....12月16日小規模噴火。山頂付近で火砕流による泥流発生

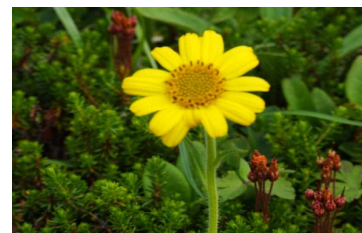
十勝岳周辺の動植物



ウコンウツギ



コメバツガザクラ



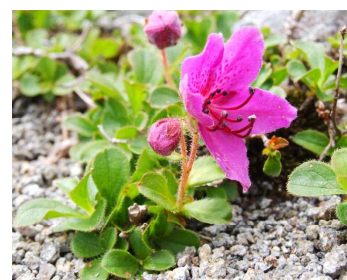
エゾウサギギク



エゾイツツジ



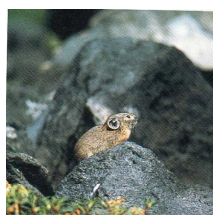
エゾマルバシモツゲ



エゾツツジ



クマゲラ



ナキウサギ



チングルマ



上俵真布林道横の滝



オプタテシケ山



美瑛富士と美瑛岳



望岳台から見る十勝岳



望岳台設置の入林箱



原生林歩道中の木。十勝岳噴火の石を絡めながら、成長しています



ウグイス谷歩道入り口

当事務所管内に隣接する名所「青い池」



美瑛町白金の町有地に位置し、たくさんの観光客が訪れています。

白ひげの滝から流れてきた水が集まり、幻想的風景を見せてくれています。中央の奥に見えるのが十勝岳です。

朗根内担当区 管内概要

I. 森林の位置および概要

当該担当区の管轄エリアは、宇莫別上流にあって上川中部森林管理署部内の中では、造林地の成績が比較的良好となっています。

また、奥地は植物群落保護林等となっています。このため、基本的に標高の低いところは水源かん養タイプ、標高の高いところは自然維持タイプとして管理しています。

II. 森林の状況等

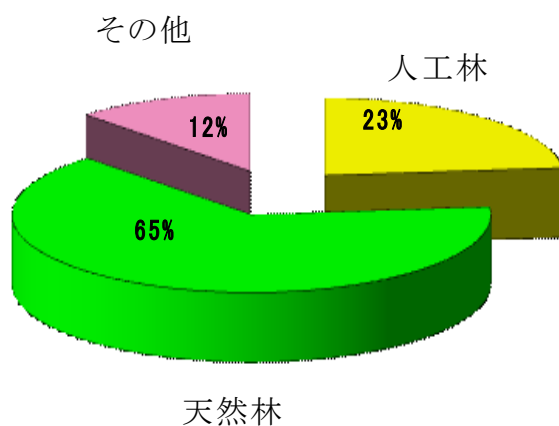
機能類型別面積

山地災害防止タイプ 757.47 ha

水源涵養タイプ 4,530.48 ha

自然維持タイプ 1,759.58 ha

【人天別比率】



※その他には高山帯等を含む

III. 特徴のある森林

区分	細分	名称	面積
保護林	植物群落保護林	十勝山系高山帯	759 ha
	林木遺伝資源保存林	旭川ウダイカンバ22 旭川ダケカンバ23	5 ha 7 ha
自然公園	国立公園	大雪山国立公園	2,409 ha



噴煙を上げる十勝岳



三川台



十勝岳連峰と扇沼



森林教室(美瑛小学校3年生)



美瑛森林事務所



国有林に入林される方は
入林承認簿に記入をお願い
します